

第2次秋田市都市農村交流マスタープラン(原案) に寄せられた意見と本市の考え方について

1 意見募集期間

令和3年12月20日(月)から令和4年1月20日(木)まで

2 意見提出者数と意見数

10名、20件

3 寄せられた意見および本市の考え方

意見者	NO.	意見	意見に対する市の考え方
1	1	【ターゲット別のモデルプラン】 酒造施設見学については、秋田市民も魅力を感じていると思うが、それ以外はあまりよく知らない。体験、滞在コースをまず秋田市民が実践して意見を求めた方がいい。	本市で実施している農村の魅力体験ツアーにおいて、引き続き市民も含めた参加者等の意見を広く取り入れるとともに、より多くの市民がツアーに参加していただけるよう、さらなる情報発信に努めてまいります。
	2	【交通手段の充実・支援】 魅力があれば交通費を出してでも訪れたいと思うがそれに見合うものがないのだろう。	ご意見のとおり、まずは本市を訪れたいと思ってもらうことが重要であるとの考えから、本マスタープランの施策として「魅力的な体験・滞在プログラムの提供」「効果的な情報発信」などを位置づけ、農村の魅力の提供や発信に一層取り組むとともに、交通費の支援拡充などに取り組むこととしております。
	3	【交通手段の充実・支援】 訪れた際、レンタカー代の補助があったら、うれしいと思う。	いただいたご意見は、交通費の支援拡充の手法の一つとして、参考とさせていただきます。

意見者	NO.	意見	意見に対する市の考え方
2	4	<p>秋田市では、若い世代が進学や就職で県外へ転出する人も多く、町内によってはほとんどが高齢者で若者が少なく、町内会によっては今後の維持に危機管理を感じている人もいます。</p> <p>【都市の便利さ】 ・交通系のICカードを早く導入してほしい ※suicaやPASUMOなど</p>	<p>今年3月に、秋田中央交通(株)が全国相互利用な交通系ICカードである「AkiCA(アキカ)」のサービスを開始する予定であり、ICカードによる市内路線バス等の運賃支払いが可能となります。</p>
	5	<p>【日本の生活文化体験・自然体験ツアー・農漁村体験】 ・秋田市での体験出来る場所が思い浮かびません。そば打ち、ろくろ、せんべい焼きとか……。 ・農泊で収穫体験や生活体験が出来たらいいです。</p>	<p>市内の方や首都圏等の方を対象に、農村の魅力体験ツアーを開催しており、農家民宿や秋田市農山村地域活性化センター「さとびあ」などで、収穫体験やきりたんぼ鍋づくり体験などを実施しております。令和4年度からは、農泊に取り組む農家等の増加を図ることとしております。</p>
	6	<p>【国際教養大学による首都圏の小学生の英語体験学習と農業体験】 県内の小学生たちにも体験させてはどうですか？</p> <p>※魅力ある秋田市になるよう頑張っていきましょう。</p>	<p>「国際教養大学による首都圏の小学生の英語体験学習と農業体験」は、これまで実施した取組として記載したものであり、こうした取組を市内の小学生等も対象に行うなど、様々な視点で、大学との連携や教育分野との連携について検討してまいります。</p>

意見者	NO.	意見	意見に対する市の考え方
3	7	<p>【本市の農村地域が持つ魅力の活用】 表中で「食」山菜料理・・・とありますが、郷土料理を味わうだけでなく、実際に山に入り山菜を採る体験を加えたらどうかと考えます。(実施する際には・・・)</p>	<p>いただいたご意見は、体験・滞在プログラムの一つとして参考とさせていただきます。</p>
	8	<p>【ターゲット別のモデルプラン】 表中ターゲット(50代、60代夫婦)その具体例の中に「りんごの木等のオーナー制度」などがありますが、これについては、オーナー家族が後々まで携われる施策を考えた方がよいかと思います。 実存するりんごの木を活用するだけでなく、たとえば日本にはない果実の木を苗木から植え付け、そして育て果実が実るまでを体験する取組を考えたらどうでしょうか。(親→子→孫)の代まで続けられると思います。これをやることにより、耕作放棄地の活用も図れると思います。</p>	<p>本市としても、観光を目的とした来訪をきっかけに、農村地域に何度も訪れる関係人口の増加を目指しているところであり、その取組の一つとして参考とさせていただきます。</p>
	9	<p>【本市において活用できる地域資源の例】 表中で観光、レジャー交流施設、温泉施設とありますが、全て県や市が関わっている施設だけを列記されていますが、一般の温泉施設等は除いているのでしょうか？たとえば秋田温泉や貝の沢温泉という施設もありますか？</p>	<p>行政の計画であるため、民間の温泉施設等の具体名は記載しておりませんが、農村地域の振興には民間事業者との連携が重要と考えておりますので、様々な民間事業者と連携しながら取組を進めてまいります。</p>
	10	<p>【「都市農村交流のキーワード」】 ・表中、アウトドア活動の交流、キーワードの中に5つの項目をあげていますが、この中に登山を入れてもよいかと思います。19頁の主な事例の中に、太平山、高尾山があります。考えてみてください。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、「都市農村交流のキーワード」に「登山」を追加いたします。</p>

意見者	NO.	意見	意見に対する市の考え方
4	11	<p>【「基本目標4 他分野との連携による取組の推進」】</p> <p>・体験ツアー、遠足プログラムの優待券(割引券)を各家庭に配布する。近くていつでも行けると思い、行ったことがないところがたくさんある。行って良かったと思うと、リピート、口コミ、発信、県外からの親類、友人を連れて行って楽しめる。知らないことはもったいなく、残念なことと思う。</p> <p>・ハピネットやブラウブリッツの選手と一緒に農業体験をしよう！！ファンにとってはとっても魅力的なプラン。</p>	<p>本市が実施している農村の魅力体験ツアーは市内の方も対象としておりますので、いただいたご意見は、市民の方の参加を促す手法の一つとして参考とさせていただきます。</p> <p>また、スポーツなど、様々な分野と連携し、農村地域への人の流れを創出することを目指すこととしており、いただいたご意見を参考に、他分野との連携について検討してまいります。</p>
	12	<p>【「基本目標4 他分野との連携による取組の推進」】</p> <p>・上記と似ているのですが・・・ツアーコースを作る。複合(全部)コース、専門コース、組み合わせ(チョイス)コースなど。</p> <p>・国際教養大学、秋田南高校や聖霊高校英語科の生徒による英語だけツアー。外国人と限らず、英語を勉強している大人も子どもも対象。</p>	<p>本市が実施している農村の魅力体験ツアーにおいて、今後、ターゲットを定めたコース設定や大学等と連携した取組など、より魅力的なプログラムの提供を行っていきたくと考えておりますので、いただいたご意見を参考に検討してまいります。</p>
5	13	<p>【「基本目標4 他分野との連携による取組の推進」】</p> <p>「さとびあ」での体験講座開催について、近くの須恵沢窯との連携(器の製作体験等)をしたらどうか。</p>	<p>さとびあでの体験講座や本市が実施する農村の魅力体験ツアーにおいて、須恵沢窯と連携して陶芸体験等を実施しております。今後も、地域資源をいかしながら、多様で魅力的な体験・滞在プログラムを提供してまいります。</p>
	14	<p>【「交通手段の充実・支援」】</p> <p>・交通手段が少ないことについては記載のとおりで、市中心部だけなら特に問題はないが、郊外への交通手段が非常に貧弱である。</p> <p>よって、秋田駅及び秋田空港から観光地等を複数巡るルートを作成したうえ観光客に周知し、専用のタクシーやバスで巡るようにしたらどうか。(出来れば、宿泊地まで送るよう)</p>	<p>本市が実施している農村の魅力体験ツアーにおいては、貸し切りバスにより移動を行っております。単独での観光客については、3時間または4時間単位で貸し切って市内を周遊観光することができる観光myタクシーの活用促進を図るなど、農村地域を含めた市内の周遊観光等がしやすい交通手段の確保・充実に努めてまいります。</p>
	15	<p>【「ニーズに沿った魅力的なメニューの開発」】</p> <p>・様々な観光モデルルートを作成すべき。「ダリア園」であれば、平沢ファームと連携した農業体験(播種・収穫など)も追加したらどうか。また、同一方向だと、奈良家住宅、油谷コレクション、三浦家住宅などを組み合わせたらどうか。</p>	<p>本市が実施している農村の魅力体験ツアーにおいて、平沢ファームと連携した農業体験を実施し、参加者から好評を得ております。これに加え、伝統文化や文化芸術などと連携し、より魅力的な体験・滞在プログラムの提供等に取り組むこととしておりますので、いただいた意見を参考に検討してまいります。</p>

意見者	NO.	意見	意見に対する市の考え方
6	16	<p>マスタープランを一読した。1章から4章までよく出来ていると思う。基本目標に沿った施策についても細部まで目が行き届いているようだ。ただ、これを作文で終わらせないで、いかに実現していくか、これが一番難しい。</p> <p>目が行き届いて、あれもこれも盛り込むのはいいが、予算にも限度があるだろうし、ひとつでも目標を達成するための”選択と集中”が必要だと思う。</p> <p>例えば、基本目標1の施策にある「リモートワークに対応可能なオンライン環境の整備」は、コロナ禍の昨今、都市部との人的交流の拡大につながる有効な手立てだろう。文中に「魅力的な交流メニューを提供する」とあるが、これをいち早く具体化して募集にかけるぐらいの実行力が求められている。</p> <p>宝島社の2022年版「田舎暮らしの本」の住みたい田舎ランキングで、秋田市は高評価を得ている。行政当局の努力もあるだろうが、地方の見直し、再評価はコロナ禍にある時代の要請とも言える。こうした状況、気運を是非とも追い風にしていきたい。</p> <p>1月17日付け魁新報に秋田市の交流事業「農村の小正月行事体験ツアー」と八峰町で行った県の「半農半X事業」の記事が載っていた。読後、「県の事業は地に足の着いた取り組みだ」と感じた一方、市の事業はイベント主体の一過性のもので果たして効果が望めるか疑問を感じた。</p> <p>秋田市の住人の何人が陶芸をし、餅をついているか。日常でないものを体験させて、関係人口の拡大、農村地域の活性化につながるかはとても思えない。</p> <p>”選択と集中”で実のある事業展開をしてほしい。</p>	<p>本プランで掲げた基本目標や施策の達成に向け、年度ごとに具体的な事業を位置づけた推進計画も新たに策定することとしており、毎年度、取組を見直すとともに、民間事業者による事業計画も含めた農村地域を取り巻く状況やニーズの変化等に対応しながら、計画期間(令和4年度～令和8年度)における取組を展開してまいります。</p>
7	17	<p>【魅力的な体験・滞在プログラムの提供】</p> <p>利用者ニーズについて、市民農園を拡充し、農業ボランティア体験だけでなく農業指導を受けながら農作物を育て収穫することができるようにする。</p>	<p>本プランの基本目標3の施策1「市民参画型プログラムの利用促進」において、援農ボランティアや市民農園の利用促進を図ることとしておりますので、いただいたご意見を参考に検討してまいります。</p>

意見者	NO.	意見	意見に対する市の考え方
8	18	<p>今回の第2次秋田市都市農村交流マスタープランについて新たなビジネスプランをご提案させていただきます。</p> <p>私をご提案したいのは「食と遊びと住」を兼ね備えた総合施設です。</p> <p>食とは農家レストラン、遊びはプレーパーク事業、住はグランピング施設で、県内外、海外旅行者が何日でも滞在できるようなものを検討しています。</p> <p>8年前から子どもの遊び場を開催しており、来場者は県内の子どもの遊び場が少ないことを危惧しておりました。私自身も子どもと一緒に遊びに行くとなれば県内ではなく県外に目を向けてしまいます。</p> <p>例えば栃木県、長野県などのリゾート地には宿泊施設と子どもの遊び場などが備わっており、何泊でも楽しめるようイベントなども企画されております。そういったリゾート地に負けないほどの秋田には自然がありながらもそれが活かされていないということは勿体ないと思いました。</p> <p>秋田市は県内の他の市に比べると人口は多いですが、他人同士の交流が少なく、交流を深めるにもきっかけがつかめずにいる方が多いです、それは子育て中の親だけではなく、若者や高齢者なども同じことがいえると思います。</p> <p>資源が豊富な秋田の素材を生かし、今現代のニーズに合った新しいビジネスとして農家レストランにはドッグランを併設、農家民宿はコンテナやテントを使ったグランピング、そして様々な自然体験ができるこどもの遊び場プレーパーク事業を合わせた施設を作りたいと考えております。</p> <p>そしてこの施設には地域の協力を仰ぎながら昔ながらの伝統行事ツアーや伝統料理などが体験でき、伝承もできるような仕組みを作っていきます。</p> <p>このアグリカントリーパークは全ての年齢層が参加しやすく、秋田への滞在時間を増やし、そして遊びに来ながら農業に携わることができる仕組みです。</p> <p>現在この施設の予定地候補は秋田市雄和にあります、決定はしておりません。</p> <p>計画書を添付致しますので、どうぞこの施設を作るためにご協力をお願いいたします。</p>	<p>本プランの基本目標の一つとして、「地域資源や自然環境を活用した新たなビジネスの創出」を掲げ、民間活力をいかしながら農村地域の活性化を図ることとしており、30ページ「都市農村交流に活用される施設」には、農家レストランを意識した「食材の生産と密接に連携した飲食店」などを位置づけております。</p> <p>これに加え、今回いただいたご提案を踏まえ、「キャンプ場」や「グランピング施設」「プレーパーク」を追加し、様々な視点から都市農村交流に資する施設整備の促進を図ってまいります。</p>

意見者	NO.	意見	意見に対する市の考え方
9	19	全ての計画で一言を申し上げます。 計画の達成こそ市民の命です。	本プランで掲げた基本目標や施策の達成に向け、年度ごとに具体の事業を位置づけた推進計画も策定することとしており、時代の変化やニーズ等を捉えながら、取組を推し進めてまいります。
10	20	素人的に意見するところはありません。 ぜひこのまま継続してもらいたいと思います。	本プランで掲げた基本目標や施策の達成に向け、時代の変化やニーズ等を捉えながら、取組を推し進めてまいります。